

ま し ー

議会だより



No.147

令和元年
12月定例会

12月定例会・

11月臨時会審議結果.....2~3

一般質問.....4~7

常任委員会活動.....8~9

町民の声.....10



児童が12月定例会を傍聴

12月定例会

台風19号被害に 伴う災害復旧費補正 2,952万円



台風19号により法面崩壊した農道(大平地内)

令和元年第6回定例会は、12月3日から5日までの3日間の会期で開かれました。

補正予算6件、条例3件、人事1件などを審議し、原案どおり可決したほか、陳情審査報告が2件ありました。町政に対する一般質問では、7名の議員が登壇しました。

令和元年度補正予算

令和元年度12月補正予算は全員賛成により可決しました。

会計区分		補正前の額	12月補正額	合計
一般会計		81億9,408.2万円	3億 920.5万円	85億 328.7万円
特別会計	国 民 健 康 保 優	26億6,232.4万円	4,695.9万円	27億 928.3万円
	後 期 高 齢 者 医 療	2億 616.1万円	499.4万円	2億1,115.5万円
	介 護 保 優	16億1,524.8万円	11.3万円	16億1,536.1万円
	公 共 下 水 道 事 業	5億1,981.5万円	721.6万円	5億2,703.1万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	1億 295.6万円	519.4万円	1億 815.0万円
合 計		133億 58.6万円	3億7,368.1万円	136億7,426.7万円

【歳出補正予算の主な内容】

- ・農林施設等災害復旧費（2,735万円）
 - ・豚コレラ感染予防事業補助金（500万円）
 - ・特殊詐欺対策電話機等購入費補助金（10万円）
 - ・ポイントカード加盟店端末購入費（383万円）
 - ・地域振興拠点施設整備事業厨房設備設置業務（2,270万円）
 - ・地域振興拠点施設整備事業加工施設建設工事（△2,270万円）
 - ・オリンピック聖火リレー実行委員会交付金（299万円）



町立小学校・中学校におけるいじめの防止等に関し、関係機関の連携を図るため、いじめ防止対策推進法に基づき協議会を設置するものです。

○益子町郷土文化維持保存施設の設置及び管理条例に関する条例の廃止

(全員賛成)

たに任用する会計年度任用職員の給与等について定めるものです。

○益子町いじめ防止連絡協議会等条例の制定

○益子町会計年度任用職員の
給与及び費用弁償に関する
条例の制定

○ 栃木県市町村総合事務組合
規約の変更
(全員賛成)
令和2年4月1日から、小山市及び小山広域保健衛生組合が規約第4条第4号に掲げる議員その他の公務災害補償等事務の共同処理に加入すること、また、小山市が規約第4条第5号に掲げる非常勤の学校医等の公務災害補償事務の共同処理に加入することに伴い、組合の規約の一部を改正しました。

規約の変更

(全員賛成)

◆審議結果【不採択】
（令和元年陳情第2号）

條例陳情

人 事

○人権擁護委員候補者の推薦

(全員賛成)

令和2年3月31日付けをもつて任期が満了する

益子町大字長堤 豊田 久氏
の後任人事で、
益子町大字長堤 大岡 功氏
が推薦されました。

本IX地区において、現地調査の結果、現況に符号しない字の区域が生じたための変更です。

○字の区域の変更
(全員賛成)

平成30年度に実施した地籍
調査事業の山本VII地区及び山



一般質問

7名の議員が登壇!

諸田 秀之 議員 4ページ

- ①虐待について
- ②災害について

小野澤 則子 議員 4ページ

- ①ましこ悠和館の現状と今後について
- ②ひまわり祭りコスモス祭りの今後に
ついて

岩崎 秀樹 議員 5ページ

- ①観光戦略について

小島 富子 議員 5ページ

- ①ましこ悠和館について
- ②中学生の広島平和記念式典への派遣に
ついて
- ③株ましこカンパニーについて

小島 久之 議員 6ページ

- ①学校教育について
- ②食の安全について

関 絹江 議員 6ページ

- ①介護認定について

直井 瞳 議員 7ページ

- ①地域創生活動事業について
- ②学校教育について
- ③社会教育について

町ホームページで会議録の閲覧ができます

契 約

○益子町地域振興拠点施設
整備事業加工施設建設工事

請負契約

(全員賛成)

△益子町大字益子811番地2
株式会社石塚土建
が落札し、「1億1千4
3万円」の契約について議
決しました。

2者による一般競争入札の
結果、

現加工所と新加工所建設予定地



質問 虐待は社会問題になつておる、増加傾向で5日に1人亡くなつてゐる。栃木県の相談数は、益子を含む市町児童相談所は10年で3倍の千件から3千件で、益子は平成30年で30件です。虐待増加傾向ですが、一時強制保護、心のケアや経済支援、里親さんの状況について伺います。

町長 対象者の安全確保のため、いち早く通告できる体制や相談窓口の整備、対象者の把握に努めている。心のケアについては心理士等の活用や医療機関との連携、経済支援については就学援助制度等につなぐ対応をしている。里親制度については県と連携し制度の周知を図っていく。

質問 問い合わせが約100件あり、益子も増えるか危惧しております。

地域体制で積極的調査、情報収集の共有は十分か。48時間ルールがあるが、益子に児童相談所がないので、どこが決断するのか。事故と人為的な虐待行為との見極めに、スキル等の必要性と本人からの相談に見逃しありません。

町長 災害時などの緊急時はヘリが着陸できる場所であれば、学校敷地等も利用可能となつてゐる。

質問 道路分断の際、72時間の壁もあり、ヘリの着陸地点の整備での規制取り決めの緩和や拡大の余地はあるか。

今後の考えは。

町長 不意の事故等については、町が責任を持つて対応する。

虐待について



諸田 秀之 議員

大規模災害について

課長 県、児童相談所、警察、医療機関、保育所等、民生委員と連携し、通報時には児童相談所と連携協議し対応している。



小野澤則子 議員

ましこ悠和館の宿泊部門は收支がとれるのか。平和のギャラリーの運営上の責任は

課長 災害時の避難についてはボランティアの方々にお話はしてある。施錠解錠、日中の見回りは職員がしている。

ひまわり・コスモス祭の会場から町内に観光客が回遊するための取り組み、観光戦略の重要な課題について

質問 他町でもひまわりやコスモスの祭りをしている。益子ならではもらう取り組みは何か。

課長

観光案内をしている。のんびりと里山風景を楽しむことと経済活動を結びつけることが課題。

ましこ悠和館の宿泊部門は收支がとれるのか。平和のギャラリーの運営上の責任は

課長 フォレスト益子と同じように委託料とか水道光熱費は全額町で支払い、面積により使用料を徴収する。令和元年内に契約締結する考え。

質問

町民は、町の健全な財政運営が持続的に図られるという安心が欲しいのです。ましこ悠和館が充分な収支が取れるという根拠は。

質問

今後、観光協会、商工会、観光商工課とも話をして町の経済活動に結び付けていく方法を研究していきたい。

質問

観光客をもつと益子の中をまわつてもらう仕組みが必要。来場人数が増えて目立てばいいのではなく、観光戦略の考え方で対策を立てているのか。

質問

町長 今後DMO（地域と協同して観光地域づくりを行う法人）等を通してどういうふうに横のつながりをつけていくのかというのは今後の課題だと思っている。

質問 平和のギャラリー部門はボランティア団体に委ねられており、職員は常駐していない。事故などが起きた場合の責任はどうなるのか。今後の考えは。

町長 今後DMO（地域と協同して観光地域づくりを行う法人）等を通してどういうふうに横のつながりをつけていくのかというのは今後の課題だと思っている。



小島 久之 議員

小学校における放射線教育について

質問 小学生に、文科省が作成した「放射線副読本」が配布されているが、どの様に教育に使っているのか。

教育長 放射線等の教育は、学習指導要領に基づいて行っています。中学校で実施しており、小学校は基本的に実施しておりません。

令和3年度から新学習指導要領が全面実施となりますので、放射線に関する情報を正しく理解する力を育成してまいります。

意見 副読本の内容なのですが、教育長は疑問には思わなかつたのか。教育委員会は、政治的中立性の確保、地域住民の意向の反映。益子町は、東海村原発から45km位。この地域の人々は不安になつてている。副読本の内容は、公平性も正確性も信憑性も、福島からの避難民のいじめ防止に作った物だろうが福島の人たちへの配慮にも欠けている。この様なずさんな物は子供たちに配らないほうが

質問 30年度2件が基準値を超えたものは何ですか。

課長 キノコ類のシシタケ2件です。

質問 キノコ類はセシウムが吸収されやすいようです。その他に木の芽ですが、ウコギ科のタカノツメは特に高い数値が出ています。町民にもっと知らせた方がいいのでは。

課長 町のホームページで24年度から今までのものを掲載しております。

質問 次の更新までに状況が変わつたら、どのような対応をしているのですか。

課長 新規は約一年、更新した人は約二年から三年の中で認定期間が満了となる。その間に介護度が上がった場合の状況になつた場合は、途中

意見 意見交換での情報の共有は大切です。いつ、誰が介護が必要になるかわかりません。そんなとき、益子に住んでいるから、大丈夫、安心だと誰もが思えるよう、今後もよりよい高齢者福祉の取り組みを求める

いいと思います。滋賀県の野洲市教育委員会では回収したそうです。今後このようなものは慎重にしてほしいと思います。



絹江 議員

介護認定について

質問 町内で生産された物や採取された物にどのくらいセシウムが含まれているか町では把握しているのか。

町長 益子町においては東日本大震災以降、町民から申請のあつた自家消費用の食品の放射性物質は簡易検査を実施しております。平成24年度には88件あり、基準値を超えたものが7件でございます。超えたものにつきましては、窓口で摂取を控えようお願いしたところです。

質問 30年度2件が基準値を超えたものは何ですか。

課長 キノコ類のシシタケ2件です。

質問 キノコ類はセシウムが吸収されやすいようです。その他に木の芽ですが、ウコギ科のタカノツメは特に高い数値が出ています。町民にもっと知らせた方がいいのでは。

課長 町のホームページで24年度から今までのものを掲載しております。

質問 次の更新までに状況が変わつたら、どのような対応をしているのですか。

課長 更新申請も新規と同じような調査票で行つているが、基礎情報は確認程度となるので若干短く感じます。

意見 意見交換での情報の共有は大切です。いつ、誰が介護が必要になるかわかりません。そんなとき、益子に住んでいるから、大丈夫、安心だと誰もが思えるよう、今後もよりよい高齢者福祉の取り組みを求める

で更新申請して、介護調査を行つて、認定してもらうことは可能です。

質問 一日当たりの調査件数と時間指定ではなく、町民、利用者ファーストにする考えはあるのですか。土曜日にしてほしいという声があるが、今後土曜日も調査する考え方ありますか。

食と安全について

いいと思います。滋賀県の野洲市教育委員会では回収したそうです。今後このようなものは慎重にしてほしいと思います。

質問 町内で生産された物や採取された物にどのくらいセシウムが含まれているか町では把握しているのか。

町長 益子町においては東日本大震災以降、町民から申請のあつた自家消費用の食品の放射性物質は簡易検査を実施しております。平成24年度には88件あり、基準値を超えたものが7件でございます。超えたものにつきましては、窓口で摂取を控えようお願いしたところです。

質問 30年度2件が基準値を超えたものは何ですか。

課長 キノコ類のシシタケ2件です。

質問 キノコ類はセシウムが吸収されやすいようです。その他に木の芽ですが、ウコギ科のタカノツメは特に高い数値が出ています。町民にもっと知らせた方がいいのでは。

課長 町のホームページで24年度から今までのものを掲載しております。

意見 意見交換での情報の共有は大切です。いつ、誰が介護が必要になるかわかりません。そんなとき、益子に住んでいるから、大丈夫、安心だと誰もが思えるよう、今後もよりよい高齢者福祉の取り組みを求める

地域創生活動補助金交付事業について

質問 現状の事業内容、推進体制について、課題はあるか。

町長 地域の課題等を解決する地域団体等が実施する事業に対しても、活動支援補助金を交付し、団体が取り組む活動に関するコンテストを行い、広報紙等により紹介している。

多くの団体に補助金制度を案内しているが、制度を活用して新たな事業を実施するまでに至っておらず、新規団体等にどのようにアプローチを図っていくか、今後の課題である。

質問 今後の事業展開により、町と地域との協働体制がさらに進展し、持続可能な地域づくりにも効果が得られるると考える。団体活動を支援する窓口、組織化を図るための機関の設置を望むが、どのような見解か。

副町長 各団体間の連携が図れるよう、コーディネーターとしての役割を果たしていくないと考える。窓口等の設置は、検討課題として適切に運営できるよう図っていきたい。



直井 瞳 議員

学校教育現場のICT化推進について

質問 教育環境のICT化推進について、どのような取り組みを行っているか。

教育長 すでに電子黒板、タブレットパソコンを町内全校に配備し、今後、校内LANの無線化、ICT機器の増設等についても検討する。

からも校務のICT化は有効であるが、どのように取り組んでいるか。

課長 現在益子中学校で校務支援ソフトを使用し検証している。結果を踏まえ導入を検討したい。

社会教育における読書活動推進について

質問 読書活動事業の充実について、今後目指すべき方向性をどのようにとらえているか。

教育長 子どもの読書推進計画に基づき、大人も含め推進している。読み聞かせ事業やブックスタート事業等を通じ、読書習慣が身につくような取り組みを実施していく。

意見 図書費の増額を望むが、図書費については他市町とも比較し、建設を見据え、図書資料の充実、蔵書等の資産形成が必要である。

わたしたちが見た・感じた。。。議会



益子西小学校6年生のみなさん

益子町のいろいろな問題を議員さんたちが熱心に討論し合っていてすごいなと思いました。

益子町がより豊かになるようにみなさんの努力が大切だと思います。

むずかしく、よく分からぬ言葉もあったけど、とても迫力のある議会でした。

町だけでなく、小中学校についてくわしく話していることにありがとうございました。

益子西小学校の事についても話してくれていたので、きちんと考えてくれているんだなと思いました。

議会の人は町全体のことについて話し合いをし、より良い町になるよう考えていることが分かりました。

総務産業
常任委員会

6項目

審議しました！～10月・11月・12月実施分～

防災・減災対策

防災計画では、水害想定を昭和61年8月豪雨の3日間雨量318mmから1日の雨量647mmに見直しをし、ハザードマップを改定作成している。災害時の物資備蓄倉庫として、非常食、機材等を備え、役場南周辺に設置している。

【委員会の意見】

備蓄場所が防災倉庫1カ所

- 防災・減災対策（10/30）
- 町有財産の利活用（10/30）
- 地域拠点施設（加工所）の方針（11/29）
- 企業誘致と起業支援事業（11/29）
- ましこ悠和館事業（11/29）
- 観光戦略会議（12/26）

であり、被災状況、緊急性を考慮し、避難場所等を増やす必要がある。さらに町防災訓練において、地域に適した実践訓練を促す必要がある。

減災対策として河川の状況を常時把握し、浚渫を適時実施するよう県担当部局に要望されたい。



町有財産の利活用

前沢町有林の整備については、公園化を目指した整備方針は立てておらず、地域との連携や人が集まるような整備方針の検討が必要である。

【委員会の意見】

旧小学校施設は、2校を貸し出しているが、旧小宅小は

耐震化されていないため、町の倉庫として利用している。

【委員会の意見】

旧小学校施設においては、全面貸付となっていない状況にあり、校庭や体育館等の現状を把握し、有効活用促進に向けた取り組みが必要である。さらに旧小宅小については、将来的負担を先延ばしせず、廃止を含めた検討をすべきである。

地域拠点施設（加工所）の方針

加工所の利用状況は10月現在、一般登録者100件、まことにカンパニー155件の利用があり増加傾向にある。

新設される加工所については、今年度内で本体建設を完了し、厨房設備等の購入設置、運用試行期間を経て令和2年7月供用開始となる。

平和学習の場となるギャラリーの入場者数はオープン以来10月末で約3000人となっている。入場料について町内児童生徒は無料としているが、料金の設定、規程の見直しも必要である。

ましこ悠和館事業

宿泊部門に関しては、道の駅を運営しているましこカンパニーと仮契約の段階である。

【委員会の意見】

DMO設立については、国庫補助金交付終了後も自走できるような組織の構築および自主財源の確保が重要となることから、戦略会議で検討されることとされた。

5月に戦略会議を立ち上げ、これまで山田桂一郎氏をファシリテーターとして会議を4回開催しており、観光戦略のコンセプト、戦略について議論され、①戦略、②推進部会、③DMOの考えられる形の3つのテーマについて共有することとした。

企業誘致と起業支援事業

3月撤退予定のリズム時計工場跡地の再利用、旧パンタックス所有の土地の活用を会社側と協議中である。

【委員会の意見】

起業支援補助金事業について

観光戦略会議

新ましこ未来計画にある観光を基幹産業とするための施策として、観光戦略会議を設



ては、積算実績として10月現在、25件交付、空き店舗利用促進策として7件の実績がある。

しての戦略、具体的行動とする観光戦略大綱を組織体制や行動計画等と併せて策定する。

教育厚生
常任委員会

7項目

- 国民健康保険事業（10/30）
- 健幸ポイント事業（10/30）
- 子育て支援施策（10/30）
- 医療費助成制度（11/29）
- 外国語教育の充実（11/29）
- 歴史文化基本構想（11/29）
- 益子中学校教職員との懇談会（12/26）

●国民健康保険事業

特定保健指導等については、今まで保健センターで生活習慣病の改善支援をはじめ、様々な教室の中で実施しているが、特定保健指導対象者にピンポイントで焦点を当てられる部分について、内容を協議しながら指導していきたいと考えている。

【委員会の意見】

特定健診を受診しても受診結果に基づいて指導を受けないと受診した意味がなくなってしまうので指導を受ける人数が増加する取り組みを強化すべきである。

●健幸ポイント事業

ポイントは入会時、町の健康教室への参加、健診及び人間ドックの受診、献血時などに付与され、貯まつたポイントは500ポイント＝500マッチに交換できる。

【委員会の意見】

今後積極的なPRにより町民への周知徹底が必要である。また、コツコツウォーキングポイントについては毎回自分で記録したものを持出しなければならず、手間がかかるので簡易化を図ることが望まれる。

●子育て支援施策

町の独自事業として、チャイルドシート等購入補助、子育て応援手当、紙おむつ等購入助成、あかちゃんのためのリトミック、NP講座、ミニNP講座、ましこ育脳ブログラム、子ども子育て支援拠点施設（ましコッコハウス）を実施している。

る。

【委員会の意見】

虐待に関して事例の通告があれば、児童相談所へ連絡を行ふほか、町要保護児童対策地域協議会で対応する。

●外国語教育の充実

令和2年度から小学5・6年生の「外国語活動」が「外国語」に変わる。小学1～4年は引き続き「外国語活動」を行う。年間の授業時数については、1・2年生が18時間、3・4年生が35時間（週1時間）、5・6年生が70時間（週2時間）となる。授業は

●医療費助成制度

子ども医療費助成について、益子町は中学生までが現物給付の対象となつたが、償還払いから現物給付になると助成額が1・5倍に増えると言わっている。不妊治療費助成については、女性のみが対象で治療に要した費用の1／2が補助される。（1年度当たり上限20万円、4年を限度）

国際社会にはばたくグローバルな人間を育成するため、外国语専科教員について1名から2名への加配措置は必要と思われる。

【委員会の意見】

基本構想推進のために、益子町歴史文化基本構想推進委員会を設置した。日本遺産については、今回登録認定件数が多いシリアル型で申請することとし、焼き物や歴史、観光のつながりがあるということで笠間市と連携している。

●歴史文化基本構想

日本遺産登録については最後の申請機会となつたので、発想の転換を図ると共に創意工夫を行い最大限の努力をすべきである。

また、全体的に考えて種々の目的を達成するために、各課の壁を取り去り、一体となつて努力していくべきである。

町民の声

森島 亜子さん



ママたちが元気な益子町へ

娘2人、息子1人の7人家族+猫
2匹。
チャレンジクラブのショートティ
スで楽しく汗を流しています。

いくもので。参加者の感想に多いものは「悩みや不安が自分だけだと思っていたら、みんなも同じで安心した」です。育児で忙しい中、自分の気持ちを話すことは大切な、といつも感じます。より良い子育てをするためにはママの心が安心、元氣でいることが重要だと思います。

お子さんの数が減ってきて

て活動し、定期的に保健セン

ターやましコッコハウスで講

座を開いています。こちらは

0歳児を持つママも参加可能

で、託児があり、ママだけの

話し合いの場を持つ形になっ

ていますので、自分を見つめ

直すきっかけにもなり、満足

度の高い評価を得ています。

講座内容は、今、子育てや

こと、みんなに聞いてみたい

ことなどをテーマにあげて話

合い、みんなが持つ情報を共有

し合って、自分の生活や子育て

のヒントにして



※N Pプログラムとは、カナダで生まれた0~5歳の子どもをもつ親のための学習とサポートのプログラム。現在、町では8名のN P (Nobody's Perfect)認定のファシリテーター(司会進行役)が活動している。

あなたも議会を傍聴しませんか 次回 3月3日(火) 開会予定

本会議当日、3階議会事務局で傍聴証を交付します。予約不要。

また、1階ホールのモニターで議会の様子を放映しています。



広報広聴
常任委員会

議会報告会
たくさんの方にご参加
いただきありがとうございました



議会報告会並びに意見交換会を10月23日に中央公民館で開催しました。参加者からいただいたご意見を広報広聴常任委員会で審査し、各常任委員会に付託しました。

○ふるさと納税が落ち込んでいるが返礼品の工夫は。○災害時の避難場所等の検討を。○悠和館の今までの経緯と現状、今後についてどうなっているのか。

○ふるさと納税が落ち込んでいるが返礼品の工夫は。○災害時の避難場所等の検討を。○悠和館の今までの経緯と現状、今後についてどうなっています。

町道(七井大平線)の改良についてご質問がありましたが、事業が運ぶ形となっています。

常任委員会に付託された審議結果は常任委員会の活動のページに随時掲載いたします。